

土 岐 市 教 育 委 員 会

平成28年第9回土岐市教育委員会定例会会議録

議 事 日 程

平成28年9月21日（水曜日）午後3時30分開議

- 日程第1 会議録署名委員の指名
- 日程第2 平成28年第8回土岐市教育委員会定例会会議録の承認
- 日程第3 土岐市教育委員会委員長の選挙について
- 追加日程 土岐市教育委員会委員長職務代理者の指定について
- 日程第4 議第18号 教育委員会に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について
- 日程第5 報第7号 土岐市嘱託員の委嘱について
- 日程第6 教育長報告

本日の出席者

委員 長	伊藤 知恵子 君
委員長職務代理者	加藤 悟 君
委員	齋木 寛治 君
委員	安藤 浩市 君
教育 長	山田 恭正 君

説明のため出席した者

事務局長	小林 京子 君
教育次長兼学校教育課長	本多 直也 君
庶務課長	松原 裕一 君
生涯学習課課長補佐	小木曾 寛美 君
文化振興課長	加藤 真司 君
スポーツ振興課長	小野 恭裕 君
図書館長	小坂 直之 君
子育て支援課	伊佐治 良典 君
文化振興事業団事務局次長	和田 敦弘 君

- ・ 会議の傍聴人 1人
- ・ 会議に遅参した者 なし
- ・ 会議の公開、非公開の状況 公開
- ・ 教育長報告 あり

場所 土岐市文化プラザ 特別会議室

会議録作成者

庶務課長	松原 裕一 君
------	---------

開会 午後3時30分

伊藤委員長

定刻になりましたので、只今から平成28年第9回土岐市教育委員会定例会を開会するにあたり、傍聴の許可についてお諮りいたします。

本日、個人1人から、傍聴の申し出がありました。許可してよろしいでしょうか。

一同

異議なし

伊藤委員長

では、許可いたします。入室していただけてください。

皆さん、おはようございます。

一同

おはようございます。

伊藤委員長

平成28年第9回教育委員会定例会を開催します。日程第1 会議録署名委員の指名を行います。会議録署名委員は、会議規則第17条第2項の規定により委員長において、加藤悟君を指名いたします。

次に、日程第2 平成28年第8回土岐市教育委員会定例会会議録の内容について承認を求めます。ご異議ありませんか。

委員

異議なし

伊藤委員長

議事録は誰でも見られるのですか。

松原庶務課長

ホームページで公開しています。

伊藤委員長

先回の、子育て支援課の保育料で問題になっていましたが、今日承認を得たので公開になるわけですね。

松原庶務課長

そうです。

伊藤委員長

次に、日程第3 土岐市教育委員会委員長の選挙についてを議題といたします。ここで委員長の選挙について、事務局から説明をさせます。

松原庶務課長

<資料で説明>

伊藤委員長

選挙の方法については、指名推薦により行います。ここで暫時休憩いたします。教育委員以外はいったん退室をお願いいたします。

— 休 憩 —

伊藤委員長

休憩前に引き続き、会議を再開いたします。それでは、どなたかご推薦をお願いいたします。

安藤委員

委員長に加藤悟委員を推薦します。

伊藤委員長

お諮りいたします。ただいま、委員長に「加藤悟君」をご推薦いただきました。「加藤悟君」を土岐市教育委員会委員長に指名し、委員長の当選人と定めることにご異議ございませんか。

一同

異議なし

伊藤委員長

ご異議なしと認めます。よって「加藤悟君」が、委員長に当選しました。なお、委員長の任期は、平成28年10月3日から1年間でございます。では、加藤委員就任のあいさつをお願いします。

加藤委員

<就任あいさつ>

伊藤委員長

私からは退任の挨拶をさせていただきます。

<退任あいさつ>

委員長職務代理者が欠員となりますので、土岐市教育委員会委員長職務代理者の指定について を日程に追加し、先議いたしたいと思えます。

これにご異議ございませんか。

一同

異議なし

伊藤委員長

よって土岐市教育委員会委員長職務代理者の指定について を日程に追加し、先議することに決しました。ここで、委員長職務代理者の指定について、事務局から説明をさせます。

松原庶務課長

<説明>

伊藤委員長

指定の方法については、改正前の土岐市教育委員会会議規則第5条第2項の規定により、指名推薦により行います。それでは、どなたかご推薦をお願いいたします。

安藤委員

齋木委員さんを推薦します。

伊藤委員長

お諮りいたします。ただいま、委員長職務代理者に「齋木寛治君」をご推薦いただきました。「齋木寛治君」を土岐市教育委員会委員長職務代理者に指名し、委員長職務代理者に指定することにご異議ございませんか。

一同

異議なし

伊藤委員長

ご異議なしと認めます。よって「齋木寛治君」が、委員長職務代理者に指定されました。

次に、日程第4 議第18号 教育委員会に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について を議題といたします。本件について、事務局の説明を求めます。

松原庶務課長

<資料により説明>

伊藤委員長

これより質疑・討論を行います。質疑・討論はありませんか。

安藤委員

それぞれの課でかなり細かく分析をされて、評価についても昨年はCが2つありましたが、今回はAとBということで概ね目標は達成できているとそれぞれの課長さん方が評価をされております。一番大事なのは最後の所書いてあります課題と今後の取組についてしっかりと次の時にはそれを反省しながら、また注目をしながら事業展開をして欲しいと思います。私が言いたいことは最後の聖徳学園大学の秋山先生の書かれた総評の中で先生も評価されているので何も申し上げることはありませんが、43ページの文化芸術活動の部分では、土岐市の誇れる伝統として千年を超える歴史のある美濃焼の事業展開に工夫を大いに期待をするとコメントが書いてあります。これについても過去本当に茶陶展や、いろんな展示会をそれぞれの中で工夫をこらしてやっておられると思いますが、最近少しマンネリ化してきたかと言うような感じの中で、作品の応募の中で若干増える時もあれば減る時もあるんですね、せつかくのいい事業でありますので、良く知っていただくためにもPR活動に力を入れるとか、やり方の部分においてもですね、どうしても限られた方にスポットを当てた中で

その方法になる。一度こういった事業に幅広い方が参加できるような展示会ができないかなと思います。ここ数年ずっと同じやり方でできておりますので、我々の会社でも展示会とかの事業をやる時には、3年、5年と同じことをやってくると、なかなか来場者の方に興味を持ってもらえない、又足を運んでもらえない現象が出てきます。市が行う事業はまたそれは別の事業だと思いますが、何か少し工夫をした中でやり方を変えていくと一層いいものになっていくのではないかと思いますので、先生もその辺を非常に期待されている部分だと思いますので、その辺を要望します。

次にスポーツの推進についてですが、これについても焼津市との交流ですが、私もスポーツ少年団に子どもが在籍している時に交流会に行きました。この交流会も当然姉妹都市という事で、ここ何十年か、その前から続いていたか知りませんが、夏にやるものはスポーツ少年団とか団体の子どもの方々に参加要請とかかけてやるわけですが、その辺も年々人を集めるのに工夫をされていることもあると思いますが、少しコメントにも書いてありましたが、参加をしてくれるやり方についても、もう少し幅広い方に参加をしてもらえる競技内容とかもう少しやり方を変えていかないと、当然相手があってできる事業でありますけれども、その部分で課長さんも苦勞をされていることと思います。とくに子どもも減ってきておりますので、その辺も工夫されるといいかと思えます。44ページに書いてあります体育施設の利用環境の充実があります。それぞれの地域で体育館を活用されているのですが、当然予算の部分もあるわけですが耐震などが施設でまだまだされていないので、非常に老朽化で不安な施設も市内にあります。その辺について、じゃあどこでやるのということになるとここということになるわけですが、何らかの形の中で、真剣に考えていかないと万が一そこでやっていた時に地震が起きたとか問題が起きた時にその施設の何かが倒れてきたとかして怪我をされると、実際にそこが問題のあった場所だとなってしまうので、やれる時に徐々にいいのでやっておかないとトイレの問題でもそうですが、汚いところは汚いところもありますし、使っている方に聞いていた意見ですが、トイレにいけないから私も参加したいのだけれどもいけないという意見もありますので、管理をしている公民館の方とも一度協議をされて、その辺の不備について把握をされて改修改善をここにも書いてありますが、整備をしていかないともったいないことになりますので、そういった点を考えていただければと思います。

加藤文化振興課長

貴重なご意見ありがとうございます。担当の方もマンネリ化を感じておりました、工夫をするように努力をしておりますが、なかなか形になって表れてこない部分があります。今後については、具体的にどうするのかはこの場では言

えないですが、担当の者やそれをサポートする者が意識をして事業に取り組むよう話して実施していきたいと思います。少しでも良くなる方向になるように、工夫をするように努力していきますのでよろしくお願いします。

小野スポーツ振興課長

焼津交流の話ですが、一般の交流が春と秋、それとスポーツ少年団と中学校の交流という事で、行政主導で直接やっている焼津交流は年4回あります。その中では、スポーツ少年団については子どもの数が減ってきているという事で、10年位前と比べてみても種目が減って現在は野球と空手のみになっています。一般の交流も毎年同じような種目の交流が続いているのが現状です。委員さんが言われるようにそういった状況が続いています。ちょうど来年が交流40周年になっており節目の年でもありますし、スポーツ少年団は加入している子供たちが増えないと何とも言えないのですが、一般の交流は他の種目にも広げて行けるようにPRなども今まで以上にやっていかなければならないのではと思っております。行政主導ではなくて、体育協会に所属している種目協会を通じて直接やっている交流については、土岐市からわずかではあります但し補助金を出すなどして進めておりますので、そういった部分でも交流が広がっていけばいいかなと考えております。次に体育施設ですが、土岐市のスポーツ施設は老朽化している施設が多くて、予算の問題もあるのでなかなかすぐには対応がしきれないというのが現状です。ただ、限られた予算の中でできることは順位を付けてやっていかないといけないと思っております。特にパトロールの回数を増やすなどをして、使っている人に危険がないように安全を確保できるような態勢だけは整えて、長期的に計画的に整備できたらと考えています。

安藤委員

ありがとうございます。お金のかかることで大変なことだと思います。どこかで新しいことにチャレンジしていくことも大切なことですので、それをやった結果が良い結果につながることもありますので、一番怖いのがその事業に対して市民の方に飽きられたり、もういいわというような気持ちになられるのが、見ていただいている方に対して悪いことになりますので、一つ勇気をもって新しい事にもチャレンジしていただければというふうに思います。

伊藤委員長

私の方から一つ。報告書の14ページの給食センターですが、栄養教諭等による給食時間の訪問等を充実しますという項目があつて、それを充実させて全クラスを訪問しますと書いてあるのですが、今回初めて私はこれを知ったのですが、給食便りには、給食センターのメニューは書いてあるが、あそこへ訪問したということは書いてないですね。今度からは、どこの学校へ訪問したとちょっと書いていただけますか。そうすると私たちも今度駄知に来てくれるの

だなどかわかっていいかなと思います。どういふふうに行っているのかわからないですし、それが家庭にも配られますし、家庭でも話題として給食のおねえちゃんが来てくれるのとかの話が100軒中1軒でも出ればそれはそれでいいと思います。関心を親に持っていただけという意味でもいいので、給食センターからいつも頂く表に訪問指導について米印をつけるなどして、どこの学校へ行ったかを教えて欲しいと思います。これは指導という上から目線で栄養教諭が指導してやると言わんばかりに私は見えるのです。これはもっと謙虚に生徒さんが給食に対して、一番色々な思いを持っている生徒さんがどんな希望があるのか、どんなことを考えているのかを、逆に栄養士はどんな苦勞をして作っているとか、どんな工夫をしているとかで、こんなに有り難い給食なんだとか生徒さんが分かり、保護者からも最近給食の味が薄いとか家よりもまずいとか言われたら、塩分をたくさん取りすぎると体に良くないんだよという話をしあって、生徒さんとの交流を図っていただいて、現場での声を聞いていただければいいのではと思います。NHKでもやったのですが、食生活が病気に与える影響がものすごく大きくて、塩分を取り過ぎている東北地方は、寿命が短いわけですね。これを治すのに大人になってからでは難しいとみんな言っているのです。やはり給食の持つ力は大きくて、薄味の給食を作っていくことがお子さんたちにもそういう意味でいいんだよとお話をさせていただいたり、そういうことをお子さんが家に帰っても給食は味が薄くて健康のことを考えてあるんだねという話ができれば親の意識も変わってくると全体的に食生活を変えていける一因にもなるという意味では出張してお話ししていただければいい制度だと思いますので、もっと一歩踏み込んで、意見を交流したりして、お子さんの声を聞いたり、工夫したり苦勞したりしている話を聞かせてあげていただければ有り難いと思います。その点お願いできますか。

水野給食センター所長

学校への訪問ですが、今日も中学校へ行っています。9月に入って全幼稚園へ行って、今日から中学校の2年生に行くので、土岐津中の2年生に行っています。行く時は何年生に対して、どんなことをするのかとテーマを決めていますので、一方的に話をして戻ってきていると思います。現場の話を聞くと給食の時間は結構短くて、学校の先生方もその短い時間に配膳して食べて片づけをする間に割り込んでいくので、なかなかうまく受け入れてくれないと聞いています。先ほど提案のあった献立表の中に入れるというのは、できるかどうかかわからないので一度持ち帰って検討させていただきませんが、訪問する学校に対してはいつ行きますよと、突然訪問する訳ではないので、事前に計画を立てて学校の養護教諭の先生と日程調整をして行かせていただいていますので、行く対象の児童生徒たちは、把握していると思っています。中に入れて皆さんに

事前に周知できるかどうかはここではお約束ができませんが、もどって栄養教諭と検討してみます。

伊藤委員長

できなければ、1か月に1回のここで、ちょっと言っていただければ私たちもわかりますので、よろしくお願いします。

他にございますか。

加藤委員

前回「C」が二つで、今回無くなっているという事で、24ページの「地域の実践力の向上」だと思いますが、具体的にどうしてできなかったところが、できるようになったのか教えてください。

小木曾生涯学習課長補佐

地域の実践力の向上について、トリプルアクションについて周知を図るような努力・工夫を行ったということでB評価となっています。各種会議において、トリプルアクションを重点的に実践するように呼びかけたり、会議の資料や色々な文書に掲載して周知を図ったという事も工夫の一つになっていると思います。更にアクションセブンが今年度トリプルアクションとして、更にあいさつデイとかの活動にも繋がって前年度は声掛けチラシなどの配布も行いましたので、B評価に上がっていると思います。

齋木委員

公民館活動ですが、評価できているという事ですが、実は今年も田植えをやるから来てくれということで行きました。案山子を作るから来てくれという事で行きました。この間は稲刈りをするからという事で行きました。あとは餅つきを楽しみにしているところですが、小さな子供がいました。おじいちゃんおばあちゃんが色々と教えて、鎌などは危険だから使わせないわけですが、こうしないとだめだとか、引かないとだめだとかあったわけですが、ちょっと一人怪我した子があったのですが、やっぱり危ないからかまわせないという事ではなくて、実際にやってみて、こうやれば怪我をするという事も実践していくという事も非常にいいことだと思います。どこの公民館も良くなって、公民館長さんも忙しいくらい色々と企画を立てて次から次へとやってみえて素晴らしいと思います。

伊藤委員長

評価が上がったものもあれば、下がったものもあります。今度これを生かして一年、自分たちの足元を見直して全てが「A」になるように各課で頑張ってくださいと思います。他に質疑がなければ、採決に移ります。

議第18号 教育委員会に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について、原案のとおり可決する事にご異議ありませんか。

一同

異議なし

伊藤委員長

ご異議がないようですので、議第18号議案については、原案のとおり可決する事に決しました。

次に、日程第5 報第7号 土岐市嘱託員の委嘱について を議題といたします。

本件について、事務局の説明を求めます。

松原庶務課長

<資料で説明>

伊藤委員長

新しい委員さんは誰ですか。

松原庶務課長

下から4名と公民館長会の梅村館長さんが策定委員と同じ方です。

伊藤委員長

他に、質疑・討論はありませんか。なければ質疑・討論を終結いたします。

それでは、日程第5 報第7号 土岐市嘱託員の委嘱については、ご承知おきいただきますようお願いいたします。

次に、日程第6 教育長報告をお願いいたします。

教育長

<報告>

伊藤委員長

これで本日の日程を全部終了いたしました。これをもって、平成28年第9回土岐市教育委員会定例会を閉会いたします。

閉 会 午後4時33分